

農の雇用関連事業の助成金交付申請等の新様式について

助成金交付申請書では、研修生と研修指導者の自署が必須でしたが、2022年4月から手続きの簡素化のため、自署が不要な新様式に変更されます。

なお、新様式と旧様式の誤り、事業の相違等で提出された場合、再提出となりますので、ご注意ください。

1. 新様式に変わる時期

2022年4月以降に実施する研修から適用。

※2022年3月以前に実施した研修分については、自署必須です。

2. 変更箇所

助成金交付申請書の様式第11号-2(4ページ目)の自署欄が氏名(研修生、研修指導者)の入力とチェック欄となります。必ず研修生と研修指導者が申請内容を確認してください。

以下の点を満たしている場合、各欄にチェックし、氏名を入力して下さい。

〔
・ 研修生が、研修指導者から適切に研修を受けたことを確認した
・ 研修指導者が、研修計画に基づき適切に研修を行った
〕 一記入例一

《研修生氏名・チェック欄》	《研修指導者氏名・チェック欄》
<input checked="" type="checkbox"/> 田畑 耕作	<input checked="" type="checkbox"/> 農業 二郎
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※複数の研修指導者を設置している場合は、その月の「指導者名」欄に記載がある人は全員の氏名を入力、確認すること

新様式

3. 新様式になる様式一覧

- ・ 農の雇用事業 助成金交付申請書(様式研第11号-2)
- ・ 就職氷河期世代雇用就農者実践研修支援事業 研修実績報告書(様式就第18号-2)

下記の方は様式の誤りに注意!!(雇用就農者実践研修支援事業の様式ではありません)

対象者	農の雇用事業で採択後、2022年4月~2023年3月を雇用就農者実践研修支援事業で支援される方
使用する様式	農の雇用事業 助成金交付申請書(様式研第10号・11号)

4. 提出方法

メールでの提出になる予定(詳細は、所在地の都道府県農業会議等へご確認をお願いします)

5. 事業実施マニュアルについて

事業実施マニュアル、助成金交付申請書一式記入ガイドの自署部分については、次の内容に読み替えをお願いいたします。

以下の点を満たしている場合、各欄にチェックし、氏名を必ず研修生と研修指導者が自身で内容を確認した後にチェックをつけ、氏名を記入してください。複数設置した研修指導者の場合、その月の「指導者名」欄に記載がある全員分のチェックと氏名が必要です。

《研修生氏名・チェック欄》	《研修指導者氏名・チェック欄》
<input checked="" type="checkbox"/> 田畑 耕作	<input checked="" type="checkbox"/> 農業 二郎
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※複数の研修指導者を設置している場合は、その月の「指導者名」欄に記載がある人は全員の氏名を入力、確認すること

以上